

# 令和2年度第4回常磐公園の緑を考える集い 開催結果

日時 : 令和3年3月16日(火) 10:00~12:15  
会場 : 中央図書館 視聴覚室  
出席者 : 市内在住の市民 13名  
旭川市土木部公園みどり課 2名  
旭川市公園緑地協会 1名  
有識者 2名

## I 開催内容

- 1 開会
- 2 活動の振り返り
- 3 今後の活動について
- 4 閉会

## II 会議録

別紙のとおり

## 指定外来種（アズマヒキガエル, ツチガエル）の駆除について

- R3 年度は配付資料のとおり活動する。

## 特定外来種（オオハンゴンソウ）の駆除について

- R3 年度は配付資料のとおり活動する。

## 樹齢の推定作業について

- (参加者)：生長錐の使用が樹木に及ぼす影響について,専門家に確認を行い,問題がないようであれば実際に使用してみるかどうか。  
(公み)：確認を行い,結果を報告する。
- (参加者)：樹齢の推定について,木材屋さんや樹木の専門家の方であれば樹木毎の生長速度などを詳しく把握しているのではないかと。そういった人に確認を行うのはどうか。また,講習会を開催してはどうか。  
(公み)：市民協働による維持・管理を目的としているため,基本的にはみなさんとの活動から樹齢を把握したいと考えている。講習会については,数年に一度そのようなものを開催することも視野に検討していきたい。

## ブッシュゾーンの管理・観察について

- (参加者)：カンタンの棲息が確認できないのであれば,他の場所からカンタンを連れてきてはどうか。また,仮に連れてきた場合,現状のブッシュゾーンがカンタンの棲息できる環境なのか,他の場所からカンタンを連れてくることについて問題はないかなど,専門家に話を聞いて行動すべきではないか。  
(公み)：上記のことについて専門家の方に確認し,報告する。しかし,ブッシュゾーンの当初のコンセプトは「より豊かな生態系を目指す」ための取り組みであり,カンタンの棲息だけを目的とした取り組みではないため,専門家の方に確認をしたうえで,今後のブッシュゾーンの管理方法について皆さんと検討していきたい。
- (参加者)：水辺との連続性を確保することで,より豊かな生態系を目指せると思う。部分的にでも水路の護岸を撤去または水辺との境界部に土を盛ることにより,水生植物の繁茂を目指せないか。  
(公み)：水流阻害等の問題があるため,対応は難しい。

## 自然更新ゾーンの観察について

■ R3 年度は配付資料のとおり活動する。

## 日本庭園エリアについて

- (公み) : エリア周辺の樹木について、鬱蒼とした雰囲気改善を図るため、間伐を行ってはどうかとの意見があったが、改めて皆さんの意見をお聞きしたい。  
(参加者) : 今年度視察を行った際に、R1 年度と比較して鬱蒼とした雰囲気が改善されていたため、引き続きエリアの視察を行い検討してはどうか。  
(公み) : 異議なし。
- (公み) : アクセス改善のため、園路沿いの石を移動させ入り口を増やしてはどうかとの意見があったが、直接石を移動させる作業は危険なため、移設する場合は移設場所を検討したうえで、緑地協会に依頼する形をとってはどうか。  
(参加者) : 異議なし。
- (参加者) : 園路と反対側のブッシュゾーン付近に、1 箇所樹木が生えておらず通り抜けできる箇所があるが、そちらについても両脇の樹木のせん定や下道の整備を行い、アクセスの改善を図るための計画を立ててはどうか。  
(公み) : 異議なし。
- (公み) : エリアにある四阿の屋根の清掃について、緑地協会で行っているため、屋根以外の清掃や、来園者の方が休憩しやすい環境づくりについて引き続き検討を行ってはどうか。  
(参加者) : 異議なし。

## その他

- (参加者)：野生動物への餌やりがもたらす影響を記した看板が設置されてから、公園内で餌やりをする人が減っているように感じる。効果を感じる。
- (参加者)：緩傾斜区間について、改修を行った後の整理（生態系の把握など）が行われていない。きちんと整理をしていけると良い。
- (参加者)：千鳥ヶ池の水質改善の試みとその結果について、経過をまとめてほしい。  
(公み)：経過をまとめ報告する。
- (参加者)：常磐公園におけるサウンディング型市場調査について、提案された事業について詳細な内容を知りたい。  
(公み)：確認する。  
(追記)提案いただいた具体的な内容については、業者の商売に関するノウハウや商法が記載されており、調査を行う際に外部に公開しないという取り決めを交わしているため、公開することはできない。